

論文審査の要旨

報告番号	修第 1313 号	氏名	大竹 慧美
論文審査担当者	主査 下 司 映 一 副査 富 田 真佐子 副査 上 田 邦 枝		
<p>(論文審査の要旨)</p> <p>本論文の要旨は、以下の通りである。</p> <p>在日中国人夫婦の家族環境では、「坐月子」の風習によりサポートが手厚く、退院後は実父母や義父母の中国の文化的育児観との間で、新たな混乱が生じていた。また、言語だけでなく、2つの文化の狭間で試行錯誤しながら育児を行い、出産・産後・退院後1か月の時期で不十分と感じる説明やケアが存在していた。そのため、医療者は祖国の文化を考慮し、妊娠中から夫婦やサポートに来ている家族へも指導や充実した説明が必要である。</p> <p>本論文について幾つかの質疑がなされた、(最終試験結果報告書に記載)</p> <p>本論文の内容は、在日中国人夫婦の妊娠・分娩・産褥・育児をサポートする上で有用であり、学術的価値の高いものと考えられ、修士論文に値するものと判断した。</p>			